

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
102		国際交流推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費
施策	3	市民による国際交流の促進	項	01	総務管理費
			目	07	文化振興費
			細目	102	国際交流推進事業
			細々目	01	国際交流推進事業
基本計画該当頁	187	担当部課	コード	750100	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号	1	名称		総務振興課	小澤 猛
					連絡先 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	青山地域の住民 (対象件数)	多文化共生の地域社会への理解が促進される。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	青山国際交流協会活動への補助	状況変化等
		H18に伊賀市国際交流協会への合併、青山国際交流協会は解散したため、青山支部設立に至っていない。H19中に設立予定。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
事業日数	日	実績 15	目標 7	3	6
		目標	実績		
		実績	目標		
		目標	実績		
		実績	目標		
		目標	実績		
		実績	目標		

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	()
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
事業参加者数	事業参加者数の増加に基づき、国際交流の市民意識の高まりの指標とします。	人	目標 480 実績 480	目標 510 実績 510	70	0
			目標	実績		
			実績	目標		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	伊賀市在住外国人の割合が住民の4.8%に達しており、共生社会の実現のため行政の関与は必要。
有効性	3	在住外国人への行政情報の提供、市民の相互理解が図られつつある。
達成度	3	年間を通じて、交流事業を実施し市民理解が進みつつある。
効率性	3	自主事業の展開など、補助金だけでなく事業を実施している。

総合評価

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
C	変更	合併後、旧市町村ごとに国際交流協会活動を実施してきたが、H18伊賀市国際交流協会への合併、各地域は支部活動として伊賀市国際交流協会からの支部活動費で活動することになった。

進捗状況	年度	委託	工事	事業内容	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容						
					事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
					負担金、補助及び交付金			500	負担金、補助及び交付金			350	負担金、補助及び交付金			240	負担金、補助及び交付金			0
							(千円)				(千円)					(千円)				(千円)
進捗率 (%)					事業費計(A)			500	事業費計(A)			350	事業費計(A)			240	事業費計(A)			0
事業投入人員					人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.0	人	0	人件費(B)	0.0	人	0
フルコスト (A)+(B)								1,220				1,070				240				0

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額
Aの財源内訳	国庫支出金	350
	県支出金	
	地方債	
	受益者負担	
	その他	
	一般財源	500
	計	500
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	
		350
		240
		0
		0